

## 昭和の音楽

加藤 健一 (P-23025・東京)

「歌は世に連れ 世は歌に連れ」20世紀デザイン切手シリーズから音楽切手を取り出して概観すると、まさにこの言葉をおもい浮かべます。歌は当時の世相と強く結びついており歴史を語ります。同時に各々の当時の記憶をも甦らせます。心にあった記憶は懐かしさであったり、辛く苦しい思い出で会ったりしても、すべて時の経過が昇華してくれます。

ここではそれらを1リーフに1アイテムのサブジェクトコレクションにして展示しました。

## 昭和の音楽

20世紀デザイン切手シリーズから

「歌は世につれ 世は歌につれ」

20世紀デザインシリーズ切手から音楽切手を取り出して概観するとまさにこの言葉を思い浮かべます。歌は当時の世相と強く結びついており歴史を語ります。同時に各々の当時の記憶をも甦らせます。心にあった記憶は懐かしさであったり、辛く苦しい思い出であったりしても、すべて時の経過が昇華してくれます。ここではそれらを1リーフ・1アイテムのサブジェクトコレクションにして展示しました。

尚、昭和期に魁ける明治・大正期の音楽切手は以下の4点があることをここに紹介しておきます。



文部省唱歌制定



宝塚唱歌隊誕生



カチューシャの唄



ゴンドラの唄

## 影を慕いて

昭和7年

20世紀デザイン切手 第6集  
2000年2月9日発行



「影を慕いて」の楽譜表紙絵（部分）

1931年古賀政男の作詞・作曲により大ヒットした。古賀政男自身の悲恋を綴ったこの歌は、数々の古賀メロディを代表する1曲となった。



初日用機械消印

## 「東京音頭」

昭和7年

20世紀デザイン切手 第7集  
2000年2月23日発行



「東京音頭」の楽譜表紙絵（部分）

「東京音頭」は前年に発表された「丸の内音頭」の旋律と「小原節」の前奏をそのまま使い特有のリズムを生み出している。



初日用機械消印